



P1. 鹿児島ユナイテッドFC 観戦

P2. 〃 〃
P3. こどもサポートセンターあさひが丘「体操教室」

P4. My Field (マイフィールド)

P5. さんぽみち

P6. SNAPスナップ

P7. TOPIX (トピックス)・新通所・新入居者紹介

P8. ベーカリー 楓 「レモンパンシリーズ」
Cafe NODOKA 「のどかオリジナル生野菜ドレッシング」
あすもね家 「スペシャルプレート」
ぎやらりーASAHIYA



こどもサポートセンターあさひが丘「体操教室」

～地域みなさんと一緒に・楽しく・健康であるために～



今回、社会福祉法人落穂会の地域貢献として地域の方向けに提供している「体操教室」について紹介させていただきます。ヨガのインストラクターである間部徳子さんや体操教室に通われている方々にお話を聞かせていただきました。

講師は、岡之原町にお住まいで自宅やその他の地域でヨガ教室を開催している間部徳子さんです。ヨガには、さまざまな種類があることや、身体のしくみについても具体的に説明してくださり、体操教室に参加された方からは、「ひざの痛みがなくなった」などすっきりした表情でお帰りいただく方もいます。

「間部徳子さん(ヨガインストラクター)」のインタビュー

私は、地域の方と接触する為にどうしたらいいか考えていました。チラシを配ったり、看板を立てたりしたけど、誰からも連絡はきませんでした。だから、この体操教室の話を受けたときは、「やってみたい」「やりたい」「待ち望んでいたことだ!」と思いました。やりはじめると、さまざまな人が来てくれています。「初めてこういうヨガに出会えた」と言って地域の方が続けて教室に来てくれています。参加者からの誘いで、上町でも教室を開催することになって、どんどん広がっていて、つながっていると感じます。これからはもっと春山地区にヨガが進行したらいいなと思います。

私は、日頃、ウォーキングをしているのですが体操教室をきっかけに地域の方に会って「あ、せんせい」と手を振ってくれるんです。横にいる旦那さまが「僕もやるかな」なんて言ってくれたりして、それが「おじヨガ」(6月から開催予定のおじさまの為にヨガ)をやることになったきっかけです。男性にもヨガのよさをわかってもらいたいと思っています。「地域に近づけているかな」って気がしています。

先日、体操教室に参加している米山さんに4月のふるさと祭りにさそってもらって嬉しかったけど参加できなくて残念でした。町内会のことを優先したい気持ちはあるので、来年こそは、舞台に立って、ヨガはいいよって伝えたいですね。

岡之原町に住んでいる住民としてあさひが丘の存在は大きいと思います。米山さんからも「ふるさと祭りのときに着替える為の部屋を借りることができて助かる」と聞いてますよ。私もレッスンに来れるのでありがたいです。満足してます。私の教室はいい人しか来ないんです。どのレッスンも楽しいですね。教室に来られる方は、みんな頑張っています。私もみなさんに話をしながら自分にも言い聞かせているんです。「休んでいいですよ」って。

最近、みなさんに「身体のしくみを説明してくれるのがありがたい」と言われることが多いです。月2回ケアハウス西陵に行っているのですが、ヨガをやりたい人15～20名が参加してくれています。座っている状態でできる動きを取り入れているのですが、高齢者の方に「説明があるといわ」と言ってもらえるので自信がもてます。伝える為には勉強も必要ですが、勉強も楽しい。私はよくばりなんです。月1週間しか行けないけど保育園の仕事も好きです。学童の子どもたちがかわいい。今、保育士免許にも挑戦しています。ヨガを中心にしながら続けたいですね。もちろん、この体操教室も!



間部 徳子さん

次にご紹介するのは、岡之原町にお住まいの米山多恵子さんです。米山さんは、初回から体操教室に参加されています。また、春山郷土芸能保存会の運営にも積極的に関わっています。他、書道教室の先生でもあり、長きにわたってバドミントンにも励まれている非常にバイタリティあふれる方です。棒踊り等、あさひが丘の職員やグループホームの利用者もお世話になっています。

「米山多恵子さん」のインタビュー

春山地区の有村さんに誘われたことがきっかけで体操教室に参加しはじめました。体操教室当日の朝、「人数が少なそうだから一緒に行かない?」と近所の方から電話がありました。回覧板の案内はみていましたが、以前、別のヨガに行っ

たときに、自分には無理だと思ったことがあって苦手意識があったのですが、頭数のひとりになればと思って参加しました。最初は嫌々(笑)。



米山 多恵子さん

でも、参加したら、先生の声が優しくて。「無理しなくていい。」「がんばらなくていい。」と言われました。私たちは、「がんばりなさい。」の世代。思っていたヨガと違うと感じました。「お腹に力をいれて。でも肩の力は抜いて。」と言われて「え？それってみんなできるの？」「股関節ってどこだったかしら？」なんて思いながら、時間が過ぎていき、最後の「シャバアサナ」（サンスクリット語で屍のポーズ）で「休んでください」と言われたことが新鮮でした。

私は、夫婦でバドミントンをしているのですが、そのクラブは40周年をむかえる平均69歳くらいのチームです。70～80歳位の人もいて、股関節の手術をしている方もいます。以前から、バドミントンを続けるなら「何かしなくては」と思っていました。家でスクワットをしたり、録画したストレッチや体操を見ながらやってみようと思っても、動かし方が正しいのかわからなくて続きませんでした。書道もしているので、ひざをついて書くときに、ひざを曲げるのでバドミントンをするときには支障がでます。両方続けることって難しいのではないかと考えていました。この体操教室に参加することで、ひざの痛みがなくなり、書道やバドミントンを続けられるのではないかと感じています。20年程、安座（あぐら）を組むことがで

きませんでした。1度体操教室に参加しただけで安座を組むことができるようになりました。関節が開くようになってきているのかもしれませんが。間部先生に学んだことは、私が開いている教室でも役にたっています。書道教室に通ってくる子どもたちの集中力がなくなってきたときに深い呼吸をするよう伝えたりしています。子どもは反応が早いので効果があります。間部先生は、素晴らしいです。この体操教室は脳トレになるし、先生の話を聞くことも好きです。理屈で教えてもらえるのでありがたいし、いろいろなことにつなげることができています。無になることが大事で、この体操教室の時間が大切です。たくさんの人に来てもらいたい。いい取り組みだと思います。企画してもらえて、参加できたことがラッキーでした。これからも続けていきたいと思っています。そして、春山郷土芸能保存会ふるさと祭りのときに、こどもサポートセンターあさひが丘で着替えをさせてもらっていますが、これからも使用してもらいたいです。他の地域の行事等も使用したいのではないかと夫婦で話をしたりしています。「何でもやるなら楽しくやろう！」をモットーに町内会は動いています。あさひが丘の職員にも協力してもらっています。これからも心身ともに健康で、がんばります！

＊＊

最後にご紹介するのは、同じく岡之原町にお住まいの徳永加代子さんです。徳永さんは、グループホームあさひが丘の世話人もしてくださり、長期休暇中は、こどもサポートセンターあさひが丘の給食の配膳もサポートしていただいています。

「徳永加代子さん」のインタビュー

体操教室のことを聞いたときは、今までヨガとかやってきたので自分にとって健康に役立つと思いました。仕事の空き時間なので丁度よかったです。参加してみると、同年齢の方々がいて親近感がわくし、間部さんの指導が優しくてわかりやすく人あたりがやわらかい。特に「シャバアサナ」（サンスクリット語で屍のポーズ）の時間がお気に入りです。できるだけ多くの人に参加して、継続されるといいなと思います。これまで、ジムやプールに通っていましたが、今は行っていないのでこの体操教室にできるだけ通いたいです。私は、この体操教室が始まる前に、あさひが丘ヨガサークルに参加したことがきっかけで間部さんと出会い、今は間部さんが自宅で実施しているヨガ教室にも行っています。最近、腰が痛いのですが、おかげさまで体操教室やヨガ教室で身体をほぐした後は、痛みが和らぎます。時間が許す限り、これからも参加したいと思っています。

体操教室もですけど、手芸とか陶芸とか公民館講座みたいなのがあると地域の方も参加しやすいのではないかと思います。

今、私は、グループホームで勤務していて、利用者からたくさんの元気をもらっています。また、年齢層は異なりますが、こどもサポートセン

ターあさひが丘に給食の配膳に行くことがあります。かわいらしいこども達に元気をもらい、刺激をうけています。顔なじみの双子の女の子や人なつこい男の子もいるので楽しいです。これからも元気に健康でいられるよう、がんばりたいです！



以上、体操教室に関わっていただいている3名の方にお話を伺いました。この体操教室を通して、私たちも地域の方とふれあう機会をいただけて、ありがたいと思っています。これからも社会福祉法人落穂会が地域の方々と交流を深めながら、互いに健康づくりができればと思います。

こどもサポートセンターあさひが丘
支援課長 白坂 由希子



マイ フィールド My Field



障害者支援施設あさひが丘
日中4科

サブチーフ支援員
梶 智美

Q1 入職のきっかけを教えてください。

あさひが丘で勤務する前は、結婚してから15年専業主婦をしていました。5人の子どもの子育てに専念するような生活でした。知的障害のある長女が、現在、グループホームで生活していますが、これまで児童発達支援やリハビリ、病院通院など、色んな所にお世話になって、また、たくさん支えてもらったので、今度は自分が支える側になりたいという思いからあさひが丘に入職しました。

Q2 これまで実際に経験されてきたことが今の支援に繋がっているんですね。

そうですね。保護者として思うことに共感ができると思いました。

Q3 現在、生活介護日中4科で勤務されていますが、梶さんが日々大事にしていることって何ですか？

一人一人が楽しめるような活動を作っていきたいと思い支援しています。ライフスタイルの中で、毎日のことが、その人の人生となるととらえたときに、あさひが丘にきて毎日過ごし、あさひが丘で過ごした時間を含めて、その方にとっていい人生だったと思えるような生活になってほしいという思いがあります。

Q4 そうですね。誰もいい人生だったと思える生活を目指したいですね。私もそうありたいです。これまでの経歴を聞いていいですか？

入職して4年間は非常勤職員で、現在正職員3年目です。

Q5 非常勤職員から正職員になられたんですね。何かきっかけがあったのですか？

家計を支える為です！(笑)

Q6 大事なことだと思います！すみません、質問の仕方が悪かったですね(笑)後押しした出来事はあったりしますか？

大丈夫です！私が正職員となって3年目ですが、入職した当時からすると、正直、あさひが丘はちょっと変わってきたと感じたころがあって、「ノー残業デー」ができたり、周りにも主婦の方も多くなってきました。5人の子どものいる私にとって、以前はあきらめていたけど、「私にもできるかも」と自分にも可能性を感じたことがきっかけとして大きいです。長く主婦をしてきて、社会に出て働きたいという

思いはあったので、働くことをあきらめなくて良かったと本当に感じています。

Q7 そうなんですね。たしかに、現在、梶さんのように家庭と仕事を両立しながら働く方もたくさんいらっしゃいますね。とはいえ、毎日大変だと思いますが、梶さんの原動力ってなんですか？

勿論、家族の理解があることが大切な要素です。あとは、人を支える職場って限られていますし、人の人生に関わっているこの仕事にやりがいを感じてることです。

Q8 一方で、リフレッシュする時間や趣味などについて聞いていいですか？

趣味という趣味はないのですが、休みの日は、もっぱら子どもの部活の練習や試合の応援に行っています。

Q9 お子さんはスポーツ何をやっているのですか？

高校生の子はサッカーをしていて、小学生の子はバドミントンをしていています。私も以前バドミントンをしていたので、たまに一緒に練習したり(笑)

Q10 分かります！一緒に練習すると、ついつい、親の方が力が入ってしまったりしますよね(笑)

はい、やっぱり、自分が経験したスポーツと一緒にやりたいという思いはありましたので、一緒にできて嬉しいです。その他にリフレッシュとしては、食べるのも飲むのも大好きです！週末は、ビールを飲んだり、自分たちで作ったもの食べたり、バーベキューをしたりするのもすごく好きです。今後は旅行も行きたいなと思っています。

Q11 コロナもこのまま落ち着いて、これから旅行もたくさんできるといいですね！最後に、メッセージをお願いします。

そうですね。専業主婦だった私が入職して現在まで続けられてきて、家族の中での私の地位、株？が上がったと感じます。(笑)食事、洗濯、掃除など以前は私がして当たり前だったけど、休みの日など夫が食事を準備してくれたりという役割分担につながって、家庭でもよいきっかけとなりとても感謝しています。

ありがとうございました。

第二旭福祉センター

(就労継続支援B型)

盛 泰作 さん
(22歳)



Q それでは自己紹介をお願いします。

A 盛 泰作です!!

Q すごく元気ですね。普段はどのような作業をしていますか?

A 手羽先餃子の加工の仕事をメインでやってるよ。包丁とか使うから最初は緊張したけど、今は緊張しないでできるようになったし、作業のスピードもだいぶ速くなってきたと思う。手羽先餃子の作業は火曜日から木曜日までしかないから、他の日は額縁の組み立ての作業をしたり、メンテナンスのワックス作業に行ったりすることもあるよ。

Q 色々なことをしているんですね。大変なことはないですか?

A まだ道具の名前を覚えたり、物をどこに移動すればいいかわからないことが多くて、苦勞することが多いんだよね。

Q なるほど。でもみんな初めのうちは分からないのが当たり前ですからゆっくり覚えていってください。作業は楽しいですか?

A 手羽先餃子の作業は作業に集中できるところが好き。さっきも言ったけど最初すげー包丁が怖かったんだよ。今も少し怖いけど…。でも、最近は慣れてきたから今は楽しくできてると思う。額縁の作業は同じ工程をずっとやることが多いから眠くなることもあるけど、電動ドリルの作業は好きだよ。ネジが空回りしないように調整するのは得意だよ。

Q 包丁や電動ドリルは使える人がなかなか少ないから貴重ですね。みんな頼りにしていると思います。ところで盛さんは今グループホームで生活していると思いますが、どうですか?

A グループホームの生活は他の人と一緒に生活なので大変なこともあるけど、自分で考えながら自分の時間を作るから自分にはグループホームの生活が合ってると思う。

「日々成長」

ワークショップあすもね 保護者 米澤 ゆり子さん

「ワークショップあすもね」さんへ通所利用して、早いもので今年で8年目になります

息子の佑紀(ゆうき)が「自閉症の傾向があります」と診断を受けたのは、2歳の頃でした。

当時は「大人になっても話せない方もいます。」と明るくない未来を聞いたり目にしたりで、これからが不安だったのを思い出します。

幼少期の佑紀は、自分の気持ちを表現する方法が分からず、理解してもらえず、毎日イライラして近くの人に噛みついたり、物にあたって破壊する毎日で、パニックになることも多かったです。

特別支援学校に入学し、先生方や佑紀に関わる方に色々な方面からサポートをして頂き、学校生活で多くの経験やお友達と関わり、大好きなスイミングも週2~3回のペースで11年間続け、穏やかで優しい性格になっていきました。

卒業後の就職先がなかなか決まらず、他の方よりも多

く自分の時間は必要ですよ。余暇の時間はどんなことをして過ごしていますか?

A 趣味はトレーニングです!! 1日1時間くらいスクワットとか腕立て伏せ、腹筋をしていました。筋肉はちょっとだけついてきたかな。前は少なかったけどご飯も大盛で1杯食べられるようになったし。

Q 毎日1時間はすごいですね!? これからも続けていくんですか?

A ー。どうかな。続けていくかどうかは気分次第かな(笑)

Q えー!? ぜひ続けてくださいね(笑) 他に趣味とかあるんですか?

A 趣味というか、前はコメットという淡水魚を飼ってたよ。もう今はいないんだけど…。

Q そうなんですね。魚が好きなんですか?

A 特に淡水魚が好きだよ。いつかは淡水魚の専門のショップとかで実習したり働いてみたいって思ってる。育て方も難しく、種類によって餌の時間とか種類が違ったり、傷つきやすい金魚がいるから注意しないといけないことがあるとか、そういうことにすごく興味があるんだよね。いつかはそういうお店で働いてみたいと思ってる。専門の本とかもあるみたいだから買って勉強してみたいなあ。

Q 淡水魚育てるの難しそうですね。専門の本を買ったらずえひを見せてください。それでは最後に今チャレンジしたいことがありますか?

A 今、やってみたいこと? あ、ふれあいスポーツ大会に出てみたい! 走るのが好きだから100メートル走とかリレーとか出てみたい。最近あまり走っていないから遅くなってるかもしれないけど…。あとは久しぶりに絵を描きたい。高校生の時によく描いていたんだよ。アニメとかゲームのイラストとか色々描いてた。細かい絵が好きだから何時間もかけて描いていたなあ。時間があつた時にまた描いてみようかな。

やってみたいことがたくさんありますね。全部チャレンジできるといいですね。



く実習したり、個人的にも見学に行ったりしましたが、佑紀が分かりやすい支援や作業内容の就職先が見つからず、卒業1ヶ月前にようやく「あすもね」さんにたどり着きました。3日間実習をさせて頂き、すぐに「ここだ!」と目から鱗でした。安堵の思いでした。

色々な実習先で出来なかった計量作業も、佑紀の分かりやすい方法で指導頂き出来る様になりました。

佑紀のペースに合わせて作業内容もステップアップして頂き、25歳になる今も少しずつ成長しています。

昨日よりも今日、今日よりも明日、出来る事が少しずつ増えて自信と笑顔に繋がっていく毎日であると思います。

仕事の終わった後の充実した佑紀の表情が大好きです。「今日頑張ったー。偉い。」と毎回自画自賛して、その日の作業内容と給食のメニューを教えてください。

まだまだ促しや声かけが必要な息子ですが、1人1人に合わせた日常の指導から体調管理に至るまで、きめ細やかに支えて下さる職員の皆様に感謝の思いです。

これからもどうぞ宜しくお願い致します。

地域生活支援センター



【公益財団法人JKA様】

2021年度競輪補助事業：福祉車両の整備

この度、公益財団法人JKA様より2021年度競輪公益資金による補助金の交付を受けて、こどもサポートセンターあさひが丘に車両の導入が完了いたしました。車両の導入により、より充実した活動をしていきたいと考えております。

第6回 春山ふるさと祭り 4月22日(土)

あさひが丘職員も参加している棒踊りの他にも演奏や踊り、餅まきなどがあり、会場に来られた方々も楽しい時間を過ごしました。



旭福祉センター



旭はなまるマーケット

4月15日(土)と4月22日(土)の2日間、恒例の旭はなまるマーケットが開催されました。今回もこの日のために利用者の皆さんが丹精込めて作った野菜やお花、パンやお菓子、クラフト雑貨など様々な商品が会場に並び、約490名の方にご来場いただきました。今回の目玉の陶芸体験も好評をいただき、多くの方にご参加いただくことができました。まだ以前のような規模での開催には至っていませんが、少しずつお客様の人数も戻りつつあるように感じます。ご来場いただきました皆様、誠にありがとうございました。

●ASAHIYAワークショップ

5月5日（金）こどもの日に、ワークショップを開催しました。花の寄せ植え体験、レーザークラフト体験、レジン創作体験の3種を実施し、それぞれ親子で楽しい時間を過ごせたようでした。次回は7月17日海の日に開催予定です、お楽しみに！！

●第9回 青空市

5月5日（金）に第9回青空市を開催しました。「毎回、楽しみにしているんですよ」と声を掛けて頂いた時は、少しずつ地域に根付いてきたのだととても嬉しく思いました。地域の方からの、新鮮な野菜も大好評でした。「だがしやハルちゃん」の出張販売もあり、お子さんと一緒に、大人の方も「懐かしい」と言いながら手に取る姿が印象的でした。今回も幅広い客層のみなさんに、ご来場頂きASAHIYAの商品を知って頂く機会となりました。

●日中活動参観

5月13日（土）4年ぶりに日中活動参観を実施しました。あさひが丘は33家族40名、あすもねは14家族17名の保護者が来園され、利用者の皆さんの普段の活動の様子を観ていただいたり、一緒に活動に参加していただきました。参観後の懇談会では、保護者同士も久しぶりの再会となり、会話が弾んでいたようでした。

●ノジリ建設奉仕作業

5月20日（土）にノジリ建設工業の方々が奉仕作業の為、来園されました。あさひが丘学園敷地内の草刈りや雑木の除去、また、職員駐車場の整地をしていただきました。敷地内がとても綺麗になっており、利用者が過ごしやすくなりました。ノジリ建設工業の皆様本当にありがとうございました。

●第17回 鹿児島県障害者スポーツ大会

5月21日（日）、天候にも恵まれ他施設の知り合いの顔を見ると、手を振って握手し「頑張ろうね」と言葉交わし、皆さん自己ベストを更に更新しようと頑張っていました。

●家族会総会

5月28日（日）4年ぶりにあさひが丘学園家族会総会を開催しました。38家族43名の方にご出席いただきました。令和5年度の事業計画及び収支予算案は承認され、また、今年度より「保護者会」から「家族会」へ名称変更となっています。今後とも、あさひが丘学園の活動へのご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

●YPOコンサート

6月18日（日）あさひが丘学園にて、よしだポップスオーケストラによるY.P.O.フレンズコンサートが開催されました。コロナ禍により4年ぶりの開催で、利用者の皆さんとても楽しみにしており、リクエストした曲が流れると、手拍子をしたり、リズムに合わせ体を動かしたりと笑顔で参加していました。当日演奏してくださったY.P.O.の皆様、盛大で楽しい演奏、本当にありがとうございました。

●きょうだい児支援会

6月25日（日）、あさひが丘乗馬倶楽部シュバルにて、きょうだい児支援会を実施しました。6家族が参加をされ、レーザー制作や馬のブラッシングや餌やりの体験を通して、きょうだい児と保護者で楽しいひと時を過ごしていました。また、茶話会を行い、保護者同士で子育てにおける悩みを相談し合い、和やかな時間となりました。今年度は10月、2月にも実施する予定であり、きょうだい児と保護者が親子で楽しい時間を過ごせるよう企画しています。

新 通 所 ・ 入 居 者 紹 介

あさひが丘



川畑 陸 さん

まわりの人のなまえをおぼえて、なかよくなりたいです。



神崎 桃花 さん

いろいろな活動に楽しく一生懸命取り組みたいです。



福永 吉紘 さん

マイペースでできる事を増やしていきたいです。



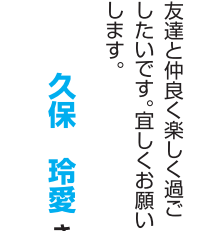
笠原 綾乃 さん

学園で頑張りたい事は行事を楽しみたいです。



村山 秋一 さん

ユニットの友だちとなかよくたくさん遊びたいです。



久保 玲愛 さん

友達と仲良く楽しく過ごしたいです。宜しくお願いします。



宇辰 竜馬 さん

学園ではルールを守って皆と楽しく遊びたいです。



外内 優美 さん

学園でも学校でもお友達をたくさん作りたいたいです。

旭福祉センター



佐々木翔平 さん

野菜の収穫をできるようにがんばりたい。



鮫島 光輝 さん

蔬菜班で野菜の収穫や手入れを頑張りたいです。



小倉 慶太 さん

がくぶちやダンボールづくりのおしごとをがんばります。よろしくおねがいします。

地域生活支援センター



秋元 千京 さん

1月28日からくみで生活しています。YouTubeをみたり、みんなと買い物に行くのが楽しいです。



濱崎 光 さん

4月からあすもねでお世話になっています。濱崎光です。楽しく仕事を頑張りたいです。



揚野 正大 さん

あすもねで働けてとてもうれしいです。どのお仕事も好きだけど、特にペンのお仕事が好きです。ずっと働けるように頑張ります。よろしくおねがいします。



夏にぴったりさわやかなレモンを使ったパンが期間限定で登場！

レモンクリームたっぷりの「レモンメロン」(180 円)、
楓で人気の塩パンをレモン風味にアレンジ「レモン塩パン」(140 円)、レモンとクリームチーズの相性抜群！
「レモンフロマージュ」(150 円)
ぜひ楓にてお買い求めください！



レモンパンシリーズ

レモン塩パン 140 円 (税込)

レモンフロマージュ ... 150 円 (税込)

レモンメロン 180 円 (税込)

カフェ&レストラン NODOKA のどか

玉葱たっぷりのオリジナルドレッシング！
NODOKAのランチのサラダにも使用しています。
ご家庭でのサラダにぜひいかがですか？ 楓店頭にて販売しています。



のどかオリジナル生野菜ドレッシング 300 円 (税込)

あすもね家では令和5年5月より新メニューが誕生しました。トマトが入ったさっぱりとしたカレーライスや、チキン南蛮や十六穀米、野菜を1皿にまとめた「チキン南蛮プレート」などこれまであすもね家にはなかったご飯メニューを始めました。中でも、カレーライスとチキン南蛮の両方が味わえる「スペシャルプレート」が大人気で、多くのお客様にご注文頂いております。

これから夏の日差しが強くなってきます。お近くを通られた際は、是非あすもね家へご来店ください。冷たいお飲み物を準備して、お待ちしております。

〒892-0853 鹿児島市城山5-1
かごしまメルヘン館喫茶室

☎ 070-8823-0051

営業時間 平日 11:00 ~ 17:00 (L.O 16:30)

※土日祝 10:00 ~ 17:00 (L.O 16:30)

定休日 火曜日 (※メルヘン館の営業日に準ずる)



スペシャルプレート 1,210 円 (税込)

ぎやらりーASAHIYAより 新作紹介

日中2科での創作活動にて生まれたイラストや文字を使用し制作しました。
可愛いイラストと「お元気ですか」「ありがとう」等、さりげない言葉がたまります。

自筆の文字を足したりして、日常の様々な場面でお役立て下さい。
バリエーションは、まだまだ増える予定です。

ぎやらりーASAHIYA
CHECK インスタ絶賛更新中！
【#gallery_asahiya】



社会福祉法人 落穂会
鹿児島市皆与志町 2503 番地
<http://www.asahigaokagakuen.jp/>
<http://www.asahi-center.co>

障害児入所施設
あさひが丘学園
TEL 099-238-4821

障害者支援施設
あさひが丘
TEL 099-238-4821

地域生活支援センター
あさひが丘
TEL 099-243-1112

障害者支援施設
旭福祉センター
TEL 099-244-3551

障害福祉サービス事業
第二旭福祉センター
TEL 099-244-3551